



編集長：リュウ キョウ（経済 3）

副編集長：ヴ ヴァン ナム（環境 3）

編集員：アタパットゥ パヴィトラ キットミニ ガヤーン（環境 3）、アディカリ サントス（環境 2）
ド ティ フェン（環境 2）、マハルジャン サジン（環境 2）、ト ネイ（総合 2）
ハイルル アナム（総合 2）



第 15 回四日市大学留学生日本語弁論大会のお知らせ

毎年恒例の「第 15 回四日市大学留学生日本語弁論大会」を開催します。日ごろの留学生生活において、感じていること、母国と日本の違い、またこれからの日本社会に対する提案などについて発表します。

たくさんのご来場をお待ちしております。

日時： 2019 年 1 月 12 日（土）開場 12 : 30 開演 13 : 00

場所： 四日市大学 311 教室

主催： 四日市大学

後援： 四日市市、四日市北ロータリークラブ
国際ソロプチミスト三重 - 北

※ 入場無料事前申込み不要



四日市徹夜おどり

2018年9月8日、毎年四日市ドームで行われている「よんてつ（四日市徹夜おどり）」に参加しました。「パッチム コヒプルバカル」という歌にあわせて、ネパールの伝統的な踊りを披露しました。この踊りには、「ネパールは多民族の国で、人それぞれ顔や文化は違うけれど、人種差別せずネパール人である誇りを持ちましょう」という意味が込められています。披露をした後、ネパールの文化など説明をしました。

そして他の日本人グループに混じり、話をしながら楽しく踊ったり、民族衣装の説明をしたり、一緒に写真を撮ったりしました。とても楽しい一日でした。



環境情報学部2年 ケ シ ブペンドラ

留学生オープンキャンパス

2018年8月2日、留学生を対象としたオープンキャンパスが大学で行われました。当日は、日本語学校の先生方やベトナム・ネパール・中国・スリランカ・インドネシア・インドの6カ国からの生徒さん約60名、私たちスタッフ10名が参加しました。

大学紹介や学部の説明のあと、先輩として在校生3名によるインタビューでは、学部で学んでいることやクラブ活動、国際交流活動などについて、生徒さんを前に答えました。その後、キャンパスツアーや模擬講義も行われました。



最後に相談会も開かれ、その日通訳などのスタッフで参加した私たちが、入学試験や学費、授業などについて熱心に質問する生徒さんに、一つずつ答えました。

この留学生オープンキャンパスに参加してくれた多くの生徒さんが、四日市大学に入学したいと思ってくれたら、とてもうれしいです。

環境情報学部2年ド ティ フェン



ベトナムフェア in 四日市

2017年9月23日・24日に第一回ベトナムフェア in 四日市が行われ、大盛況でした。その第一回に引き続いて今年の6月23日・24日に第2回ベトナムフェア in 四日市が開催されました。これは2016年8月に四日市市とベトナムのハイフォン市が経済交流に関する覚書を締結したことを記念し、四日市市の皆様にベトナムの文化を紹介する目的で開催されています。去年に引続き今年も私は、ボランティアとして参加しました。

当日ベトナムの赤い国旗が、商店街を包み込みました。商店街に来た時、前回の規模より今回の規模のほうが大きく感じました。フォーやバンミーなどベトナムを代表する食べ物や雑貨などの出店が並び、どこでもベトナム語が聞こ



えました。それは、地元の市場のようでした。

前回と同じく、23日に先着100名様にチェアの無料で振舞われました。また民族舞踊の披露、ベトナム音楽の演奏も行われました。同時に民族衣装アオザイの試着コーナーもあり、アオザイを試着でき写真を撮ることができ、多くの来場者が訪れました。

また今回は、四日市大学の卒業生が東京で起業したバンミーの店、「バンミーシンチャオ」も出店しました。この店は東京で大変人気があります。私にとってバンミーは、朝食です。子供の時、毎朝学校へ行く前に食べていました。とても人気があり、お客様が多か

ったです。私も長い列を並び、45分ほどかかってやっとバンミーを手に入れました。やはり美味しかったです。

会場に設定されたステージで挨拶や自己紹介といった簡単なベトナム語講座、ベトナムでのじゃんけんを皆様に紹介しました。次に「幸せなら手をたたこう」の歌をベトナム語と日本語で皆さんと一緒に歌って楽しかったです。前回に引続き、環境情報学部3年ホップさんがサオというベトナムの横笛の演奏も行いました。皆さんの前で演奏するホップさんは、とても緊張しましたが、皆さんの応援した拍手をもらって嬉しかったと言っていました。

2日間行われたベトナムフェアが終わり私たちは、多くのことを学びました。また第3回ベトナムフェアが行われることを、楽しみにしています。

環境情報学部3年 ヴェ ヴァン ナム



Discover Japan 日本再発見の旅

7月17日に授与式が行われた「宗村南男記念 - 留学生による日本再発見の旅 - Discover Japan」の受賞者たちが、受賞した企画で研修旅行を実施しました。受賞したのは、中国出身の3人が企画した沖縄を訪ねる旅で、9月2日から5日にかけての3泊4日の内容です。下記は受賞者の一人、経済学部3年生ゲン ロさんのレポートです。

沖縄の旅

9月2日から5日まで、「宗村南男記念 - 留学生による日本再発見の旅 - Discover Japan」で受賞した「沖縄の旅」に友人2人と一緒に行った。沖縄は皆初めてで、飛行機に乗る前から興奮しっぱなしだった。



到着した翌日、ひめゆり平和記念資料館と首里城公園に行って見学をした。ひめゆり平和記念資料館では、戦争の恐ろしさを学んだ。「絶対戦争はしてはいけない！あってはならない！」と言っていたボランティアガイドの方の表情から、強い想いを感じた。沖縄には、戦争の痛みが生々しく残っていて、それを思うと複雑な心境にもなる。当然だが、私は留学生なので戦争を体験していない。辛さも、痛みも、苦しみも悲しさも想像することしかできない。なんと歯痒いことであろうか。

首里城は、沖縄の歴史、文化を象徴する城であり、首里城の歴史は琉球王国の歴史そのものである。首里城は、内郭と外郭に大きく分けられ、正殿をはじめとする城内の各施設は東西の軸線に沿って配置されており、西を正面としている。中国や日本との長い交流の歴史があったため、首里城は随所に中国や日本の建築文化の影響を受けていることがわかった。じっくり見て初めて気がつくこともたくさんあったので、多くの人に是非、ゆっくり見てほしいと思った。

三日目は、色々な体験をした。この日は、天気も良かったので、本当に美しい景色が見られた。一番心に残っているのは、ダイビングで海に潜ったことである。海の中では、色々な魚やサンゴ、ニモのモデルであるクマノミも見られた。魚は、目の前を通り過ぎていき、底の方ではウミヘビ、ナマコなど、普段見られないものもいた。思っていた以上のものを自分の目で見ることができ、感動した。40分も海の中に居続けたというのが、今考えると不思議な感じである。海から上って、海岸のゴミ拾いもした。釣り糸やペットボトル、空き瓶などが流されてきていた。こんな美しい海にゴミを捨てるなんて、許せないと思った。

ビーチのすぐ近くで、毎日、白い砂浜と美しい海の色を眺めることができた。珊瑚を拾ったり、膝まで海に浸ったりして、毎日マリン体験をしていた。海は朝、昼、夕方と表情が違って、普段、都会で生活している私はとても感動した。

今回の旅で心に残ったのは、自然の美しさと人の温かさである。近隣諸国からの影響、悲惨な戦争の歴史の中で育まれた暮らし、そんな沖縄だからこそ、地元の人々の優しさには深みがある。だから私は、また沖縄に行きたいと思う。



受賞者 経済学部経済経営学科3年 チン ケンビン
経済学部経済経営学科3年 ゲン ロ
総合政策学部総合政策学科2年 コ ギライ

留学生・日本人学生交流研修旅行

今回私は、留学生の友達に誘われて、参加しました。私は今までそんなに大学の行事に参加していませんでしたので、このような旅行があるのもしりませんでした。参加してみて、日本人が少なく最初は少し緊張もありました。しかし、留学生の人とたくさん仲良くなれて、国境を越えても言葉があればつながれると私は、感じました。旅行内容もすごく充実していて懐かしさも感じずごく楽しかったです。夜のレクリエーションなどで、さらに友好関係も深くなり、留学生の人と仲良くなれてよかったです。いろんな国の人と交流できて視野も広がりました。友達になった留学生と冬休みとか、その国に行ってみたいという気持ちにもなりました。また京都では、伝統的な文化に触れられてよかったです。

たくさんのいい思い出を作ることができ、また来年も参加したいです。

経済学部 3年 的場 敦

毎年恒例の留学生・日本人学生交流研修旅行は、9月11日から12日の1泊2日で京都と奈良を訪れました。参加者は、80名でした。

1日目は、四日市駅前からバスで奈良へ向かい、法隆寺、うめもり寿司学校、奈良公園とその後 ホテルに宿泊しました。2日目は、ホテルで朝食を食べて、伏見稲荷大社、嵐山、最後に金閣寺を見学し、またバス乗り、大学、四日市駅へ帰ってきました。

今回見学した場所の歴史などを紹介したいと思います。法隆寺は、世界で最も古い木造建築物であると広く認められ、日本で最も有名な寺院の一つとして知られています。1993年、「法隆寺地域の仏像建造物」としてユネスコの世界遺産に登録されました。

奈良公園に生息するシカは国の天然記念物に指定されている野生動物です。決して飼育されている動物ではありません。野生動物は「無主物」であり、所有者はありません。だからといって、個人が捕まえたり、傷つけたりすることは違法行為です。シカはかわいい動物ですが、その生態を知らないと被害を受けることもあるそうです。

嵐山では、川辺に座って景色を眺める人、お弁当を広げて食べている人、写真を撮っている人、いろいろです。桜や紅葉の名所であり、日本さくら名所100選ならびに日本紅葉の名所100選に選定されているそうです。

金閣寺は、臨済宗相国寺派の禅寺で正式には鹿苑寺といいます。鎌倉時代の公卿、西園寺公経の別荘を室町幕府三代将軍の足利義満が譲り受け、「北山殿」と呼ばれる大規模な邸宅を造営したのが始まりとされています。

バスの中では 歌を歌い、踊ったりしておもしろかったです。短い期間ではありましたが、日本の歴史と文化を学べとても、充実した研修でした。

環境情報学部 2年 アディカリ サントス





今年、参加しなかった人は、
来年は、ぜひ参加してくださいね！！

ネパールの文化

2018年9月13日・14日に行われた、暁高校文化祭でネパールの文化等を紹介しました。

ブースにいらっしゃったお客様たちに、ネパールの文化、民族衣装のサーリを試着し写真を一緒に撮ったり、ネパールで有名なゲーム、ツネーギの遊び方を紹介し、一緒にツネーギをしました。また現在ネパールで使われている通貨を紹介し、大変興味を持って頂きました。

高校生の皆さんも、たくさんブースに来て頂き、ネパールに興味を持って話を聞いてくださり、とても嬉しかったです。私たちのブースの他に、お化け屋敷や演劇等をしていました。そういう光景を見ると、私の高校生だった頃を思い出されました。

今回暁高校文化祭に参加して、二カ国の文化等を知ることができ、とても楽しかったです。

環境情報学部2年 マハルジャン サジン



スリランカの文化

2018年7月21日、桑名市の深谷教育集会所で「スリランカの文化を学ぶ」という国際交流活動を行いました。私はその日参加した30名の小学生と16名の保護者にスリランカの文化について紹介しました。

最初にスリランカの挨拶をスリランカの「シンハラ語」でみんな練習しました。次に、スリランカの地図、面積、国旗、首都、人口などを紹介しました。シーギリヤロック、アヌラダプラ、キャンディーペラハラ祭り、イルカやクジラウオッチングを写真で紹介すると、皆さん真剣に見てくれました。

次に、スリランカの学校について、クイズ形式で紹介しました。皆さんが、次々手を上げて、元気よく子供たちが答えてくれました。そして、最近スリランカの子供たちで人気がある遊び、「ロック・シザース・ペーパー」を紹介しました。日本の「じゃんけん」と同じだからか、子供たちが大変喜んで遊んでいました。

その後、みんなでスリランカのお菓子、ミルクトフィーを味わいました。「とても甘いけど美味しい」と言ったのを聞いて嬉しかったです。そして多数のお母さんたちからミルクトフィーのレシピも聞かれました。また、スリランカに旅行に行った時買ったスリランカの「バテック」服を着ていたご両親2人に声かけられ、私にスリランカはとてもきれいな国ですねと言われ、とても嬉しかったです。



改めてスリランカの文化を見直した事も、子供たちと一緒にいた時間もとても素晴らしい経験でした。

環境情報学部3年 アタパットゥ パヴィトラ キットミニ ガヤーン

奨学金

**下記の留学生に、留学生を対象とした奨学金が給付されました。
受給者の皆さん、おめでとうございます。**

文部科学省外国人留学生学習奨励費（日本学生支援機構）

平成30年度《1年間》

杜 寧(トネイ、総合政策学科2年)

三重県私費外国人留学生奨学金（三重県）

平成30年度合格者 SHERPA DAWA(シェルパ ダワ、環境情報学科2年)

